

清見寺でシロアリ検査

静岡 県対策協、処置方法を提案

県内のシロアリ駆除財「清見寺」でシロア業者らでつくる県しろりの被害や腐朽状態のあり対策協会（山島真 検査を行った。7月ま雄会長）は26日、静岡 で県内13施設で検査を市清水区の市指定文化 行う予定。



ロボットを操作し床下の映像を確認する調査員
＝26日午前、静岡市清水区の清見寺

清見寺では調査員が目視で柱や梁（はり）などを確認したほか、ロボットを使い、山門や書院の床下など狭い空間も点検した。書院につながる玄関でシロアリがかんだ跡が見つかり、腐朽も複数箇所で見つかったという。同協会は8月中に各施設の検査結果をまとめ、市町や施設所有者へ処置方法を提案する。

文化財保護を目的に2008年から始まった事業で、同協会はこれまで100以上の文化財などで検査を実施した。